2026年12月期 第3四半期
決算補足説明資料

井関農機株式会社

2026年11月13日

ポイント

● 2026年12月期 第3四半期業績 [前年同期比]

売上高

減収

(社内計画以上の売上高)

国内：農機受注は好調継続
但しコンバインを中心に
生産対応しきれず

海外：欧州堅調
北米回復基調

売上総利益率

+2.1pt改善

前期30.0%⇒当期32.1%
プロジェクトZ効果発現

営業利益

増益(108.6%)

前期59億円⇒当期65億円
営業利益率4.6%(+0.4pt改善)

コンバイン受注残(台数ベース)

+約4ヶ月

売上・利益は期ずれ
(主に来期以降に発現)

● 2026年12月期 通期業績予想

修正なし

	当期予想	前期比
売上高	1,800億円	△57億円 (96.9%)
営業利益	60億円	＋17億円(142.0%)
1株当たり配当	45円	＋ 5円

● トピックス

- **株式の売出しによる流動性向上と株主層の拡大**
  自己株式取得による株主還元強化・資本効率改善
- **蘭FPS社と欧州向け電動トラクタに関するフィージビリティスタディ開始**
- **熊本工場跡地売却 (譲渡益 約61億円、2027年1Q予定)**

目次

１．2026年12月期 第３四半期　業績の概要

２．2026年12月期　業績予想

１．2026年12月期 第３四半期　業績の概要

連結業績の概要　減収、営業・経常増益

(単位：億円、%) (2026年1月1日～ 2026年9月30日)	2024/12期 3Q実績	2025/12期 3Q実績	2026/12期 3Q実績	前年同期比	
				増減	増減率
売上高	1,285	1,437	**1,422**	**△ 15**	**△ 1.0%**
(国内)	836	981	**943**	**△ 38**	**△ 3.9%**
(海外)	449	455	**478**	**＋ 22**	**＋ 5.0%**
売上総利益	388	431	**456**	**＋ 24**	**＋ 5.8%**
売上総利益率	30.3%	30.0%	**32.1%**	**＋ 2.1%**	**-**
営業利益	31	59	**65**	**＋ 5**	**＋ 8.6%**
営業利益率	2.4%	4.2%	**4.6%**	**＋ 0.4%**	**-**
経常利益	29	53	**56**	**＋ 2**	**＋ 4.8%**
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△5	41	**40**	**△ 0**	**△ 1.8%**

為替平均 レート(円)	ドル	150.5	148.9	**158.8**	**＋9.9**	**-**
	ユーロ	159.7	165.4	**184.2**	**＋18.8**	**-**

主な増減要因 [前年同期比]

国内売上高　：　農機受注は好調継続
但し、生産対応しきれず
(特にコンバイン、生産移管・熊本地震影響)
受注残増(コンバインは+約4ヶ月)

海外売上高　：　増収、欧州堅調・北米回復基調

営業利益　：　増益、売上総利益率改善
プロジェクトZ効果発現

経常利益　：　シンジケートローン一時費用等で増益幅縮小

四半期純利益　：　前期の固定資産売却益剥落
法人税等調整額(費用)の減少

四半期純利益の主な増減要因（プラスは収益好転）	
営業利益の増	＋ 5億円
シンジケートローン一時費用	△ 2億円
前期の固定資産売却益の剥落	△ 10億円
法人税等調整額(費用)の減少	＋ 12億円

国内売上高　農機受注は好調継続　但し、生産対応しきれず

(単位：億円、%) (2026年1月1日～ 2026年9月30日)		2024/12期 3Q実績	2025/12期 3Q実績	2026/12期 3Q実績	前年同期比	
					増減	増減率
農機関連	農機製品 整地機	160	185	187	＋ 1	＋ 1.1%
	農機製品 栽培機	51	65	63	△ 1	△ 2.4%
	農機製品 収穫調製機	111	141	88	△ 53	△ 37.6%
	農機製品 小計	323	393	340	△ 52	△ 13.5%
	メンテナンス 部品	127	133	146	＋ 12	＋ 9.3%
	メンテナンス 修理収入	46	50	53	＋ 3	＋ 7.3%
	メンテナンス 小計	173	183	199	＋ 16	＋ 8.8%
	作業機	157	208	212	＋ 3	＋ 1.7%
	計	655	785	752	△ 33	△ 4.2%
施設工事		28	52	39	△ 13	△ 25.4%
その他農業関連		153	143	151	＋ 8	＋ 5.9%
合　計		836	981	943	△ 38	△ 3.9%
メンテナンス収入比率		20.8%	18.7%	21.2%	＋2.5%	-

主な増減要因 [前年同期比]

農　機　製　品　：　トラクタ・田植機は堅調継続も
コンバインは生産移管・熊本地震の
影響で減収
(P15：コンバインの見通し)

メンテナンス収入　：　安定収益源、順調に拡大

作　　業　　機　：　稲作用作業機が伸長

施　設　工　事　：　前期の大型物件完工剥落

その他農業関連　：　精米収入、農業用資材等堅調

➢ （参考）当社農機製品価格改定

時期	改定率
2022年6月	約3%
2023年4月	約5%
2024年3月	約3%
2025年7月	約7%
2026年8月	約4.6%

海外売上高　欧州堅調・北米回復基調

(単位：億円、%) (2026年1月1日～ 2026年9月30日)	2024/12期 3Q実績	2025/12期 3Q実績	2026/12期 3Q実績	前年同期比	
				増減	増減率
欧　州	312	313	**347**	**＋ 34**	**＋ 11.0%**
北　米	91	76	**87**	**＋ 11**	**＋ 15.1%**
アジア	40	62	**38**	**△ 24**	**△ 38.6%**
その他	5	3	**4**	**＋ 1**	**＋ 33.3%**
合　計	449	455	**478**	**＋ 22**	**＋ 5.0%**

海外売上高 比率	35.0%	31.7%	**33.7%**	**＋2.0%**	**-**

主な増減要因 [前年同期比]

欧 州：フランスは電動草刈ロボット、
ドイツは井関製品を中心に販売続伸
2027年ドイツで新商材投入予定(仕入商品)

北 米：市場は依然軟調ながら、
AGCO社からの受注は回復基調

アジア：韓国は大型コンバインの生産対応しきれず

タイは引き続き景気低迷で販売伸び悩み

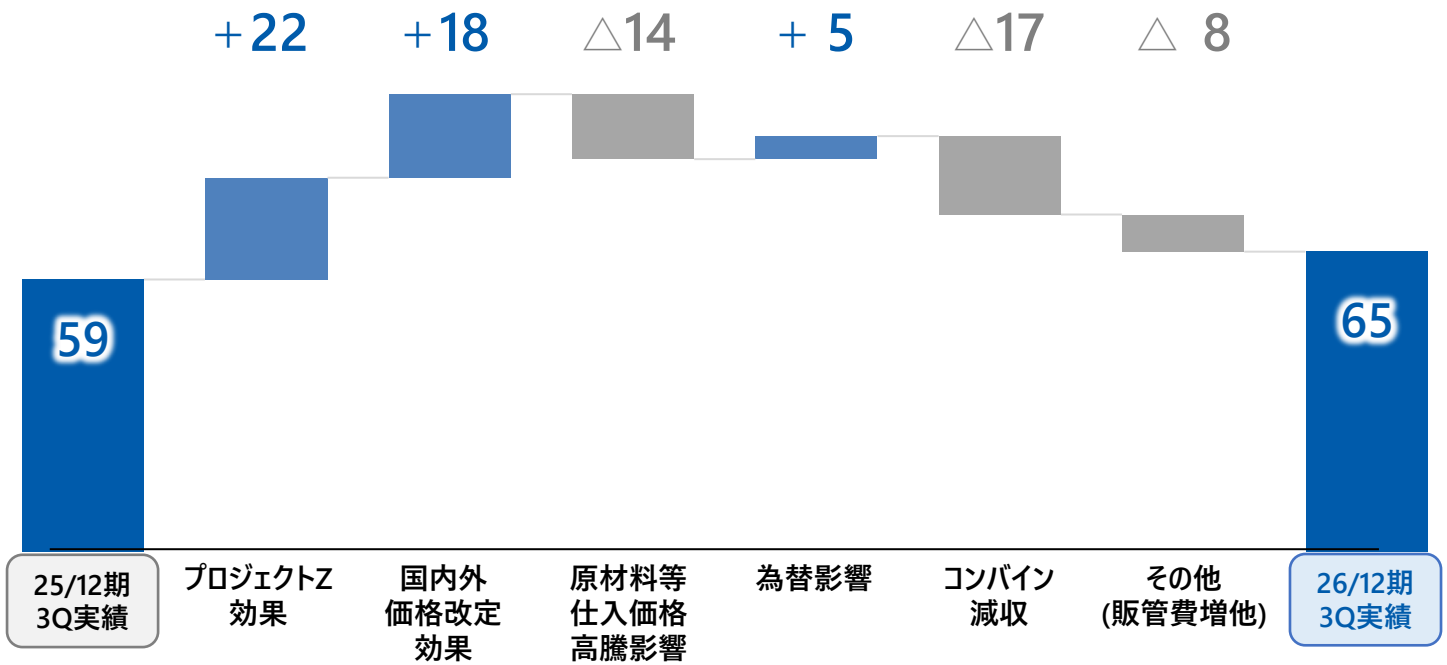
インドネシアは4Qに挽回見込む

営業利益　プロジェクトＺ効果発現、利益率改善・増益

営業利益率 4.6% [前年同期比＋0.4%]

(単位：億円、%) (2026年1月1日～ 2026年9月30日)	25/12期 3Q実績	26/12期 3Q実績	前年同期比	
			増減	増減率
売 上 高	1,437	1,422	△15	△1.0%
売上総利益	431	456	＋24	＋5.8%
売上総利益率	30.0%	32.1%	+2.1%	-
販 管 費	371	391	+19	＋5.3%
人 件 費	211	220	+8	＋4.2%
その他経費	159	170	+10	＋6.8%
営業利益	59	65	+5	＋8.6%
営業利益率	4.2%	4.6%	+0.4%	-

【営業利益増減内訳［前年同期比：＋5億円］】



【為替影響(億円)】

売　上	原　価	販管費	営業利益
＋38	+25	+8	＋5

【プロジェクトＺ効果(億円)】

(前年同期比)	通期 予想	3Q 実績
営業利益	＋ 28	＋22

P16：プロジェクトＺの進捗

バランスシート　生産最適化投資は着実に実行も、財務健全性を維持

棚卸資産　：生産用部品等が一時的に増加。期末に向け圧縮
有利子負債：生産最適化資金増加も、運転資金は減。D/Eレシオは維持(0.97倍⇒0.95倍)

(単位：億円)	24/9月末	25/9月末	26/9月末	前年同期比		24/9月末	25/9月末	26/9月末	前年同期比
現預金	76	101	**70**	**△31**	仕入債務	233	257	**268**	**＋11**
売上債権	350	403	**333**	**△70**	有利子負債	847	752	**807**	**＋54**
棚卸資産	680	582	**628**	**＋45**	(借入金)	(771)	(683)	**(733)**	**(＋49)**
その他流動資産	37	43	**64**	**＋21**	未払金	97	120	**123**	**＋2**
					その他負債	221	252	**246**	**△5**
流動資産計	1,144	1,131	**1,096**	**△34**	負債計	1,399	1,382	**1,445**	**＋63**
有形固定資産	814	813	**888**	**＋75**	純資産	741	779	**850**	**＋70**
無形固定資産	26	32	**50**	**＋17**					
投資その他資産	155	184	**260**	**＋75**	(利益剰余金)	(194)	(205)	**(223)**	**(＋18)**
固定資産計	996	1,030	**1,199**	**＋168**					
資産合計	2,141	2,162	**2,295**	**＋133**	負債・純資産計	2,141	2,162	**2,295**	**＋133**
					(自己資本比率)	32.3%	34.0%	34.9%	+0.9%
					(D/Eレシオ)	1.14倍	0.97倍	0.95倍	△0.02倍

キャッシュ・フロー

来春販売用仕入作業機の在庫増等により一時的に悪化　4Qから来春に向け削減を図る

	24/12期 3Q実績	25/12期 3Q実績	26/12期 3Q実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	**△ 45**	**50**	**△ 101**	**△ 151**
（税金等調整前四半期純利益）	6	62	**50**	△ 12
（減価償却費）	40	38	**41**	＋ 2
（減損損失）	22	0	**4**	＋ 3
（売上債権の増減額（△は増加））	△ 79	△ 157	**△ 69**	＋ 88
（棚卸資産の増減額（△は増加））	51	102	**△ 55**	△ 157
（仕入債務の増減額（△は減少））	△ 185	8	**0**	△ 7
（未払金の増減額　（△は減少））	92	17	**△ 7**	△ 24
（その他）	6	△ 21	**△ 65**	△ 43
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 43**	**△ 27**	**△ 121**	**△ 93**
（有形及び無形固定資産の取得による支出）	△ 43	△ 46	**△ 121**	△ 75
（有形及び無形固定資産の売却による収入）	3	18	**3**	△ 14
フリーキャッシュフロー	**△ 89**	**22**	**△223**	**△ 245**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**61**	**△ 12**	**162**	**＋ 174**
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	**△24**	**12**	**△60**	**△ 72**

２．2026年12月期　業績予想

2026年12月期 連結業績予想

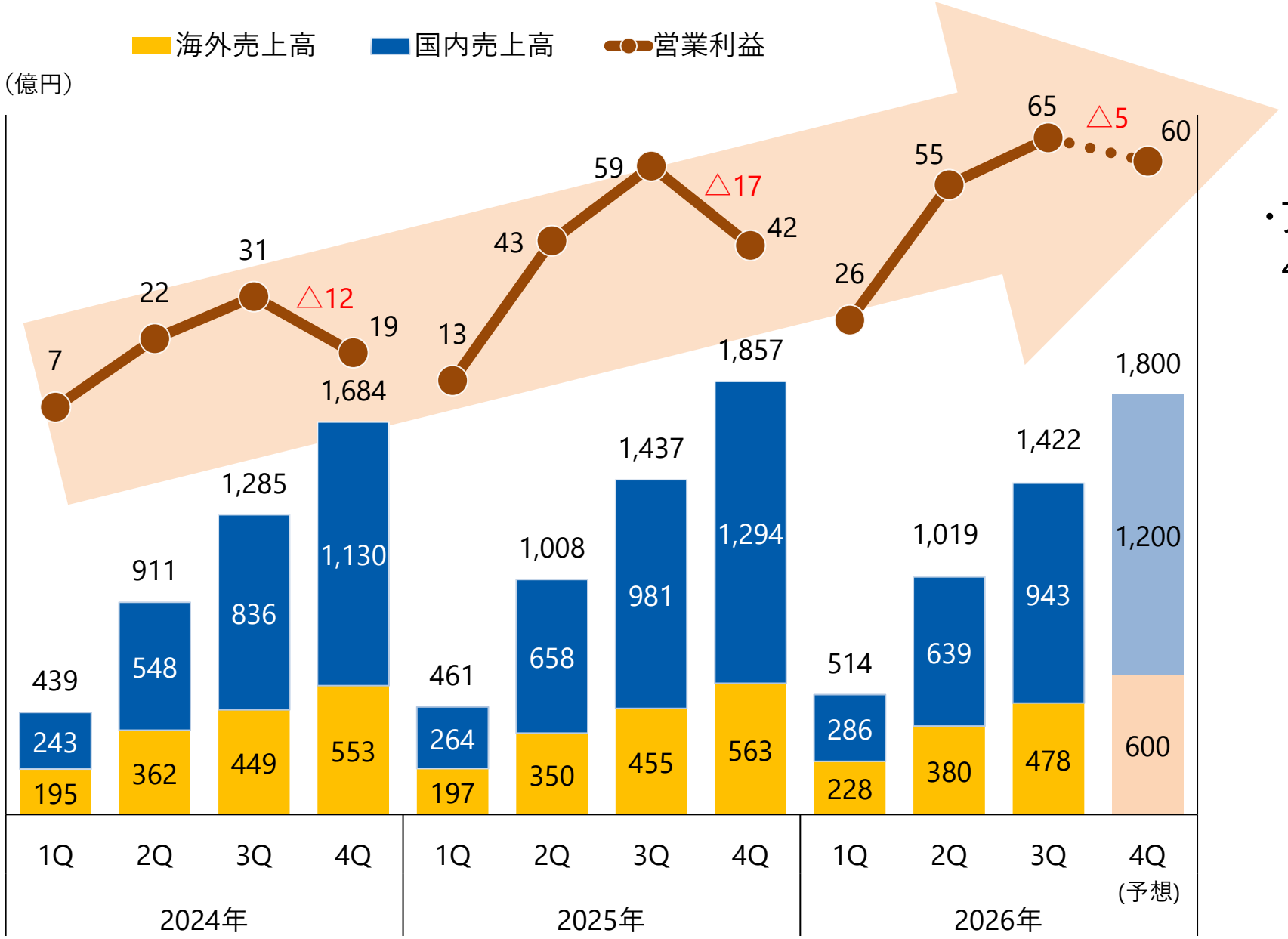
・修正なし

(単位：億円、%)		2023/12期 実 績	2024/12期 実 績	2025/12期 実 績	2026/12期 予 想	前期比
売上高		1,699	1,684	1,857	1,800	△ 57
	(国内)	1,130	1,130	1,294	1,200	△ 94
	(海外)	568	553	563	600	＋ 36
営業利益		22	19	42	60	＋ 17
	営業利益率	1.3%	1.1%	2.3%	3.3%	＋ 1.0%
経常利益		20	15	41	49	＋ 7
親会社株主に帰属する当期純利益		0	△ 30	27	30	＋ 2
為替平均レート(円)	ドル	139.7	151.7	149.9	153.4 *2	＋ 3.5
	ユーロ	156.6	164.8	169.1	180.2 *2	＋ 11.1
ROE（%）		0.0%	△ 4.4%	3.9%(2.4%) *1	4.0%	＋ 0.1%
期末配当（円/1株）		30	30	40	45	＋ 5

＊1 ( )内数値は、固定資産売却益10億円を除く

＊2前回発表時（2026年 8 月 7 日）における通期平均為替レート（下期想定為替レート：対ドル＝150.0円、対ユーロ＝175.0円）

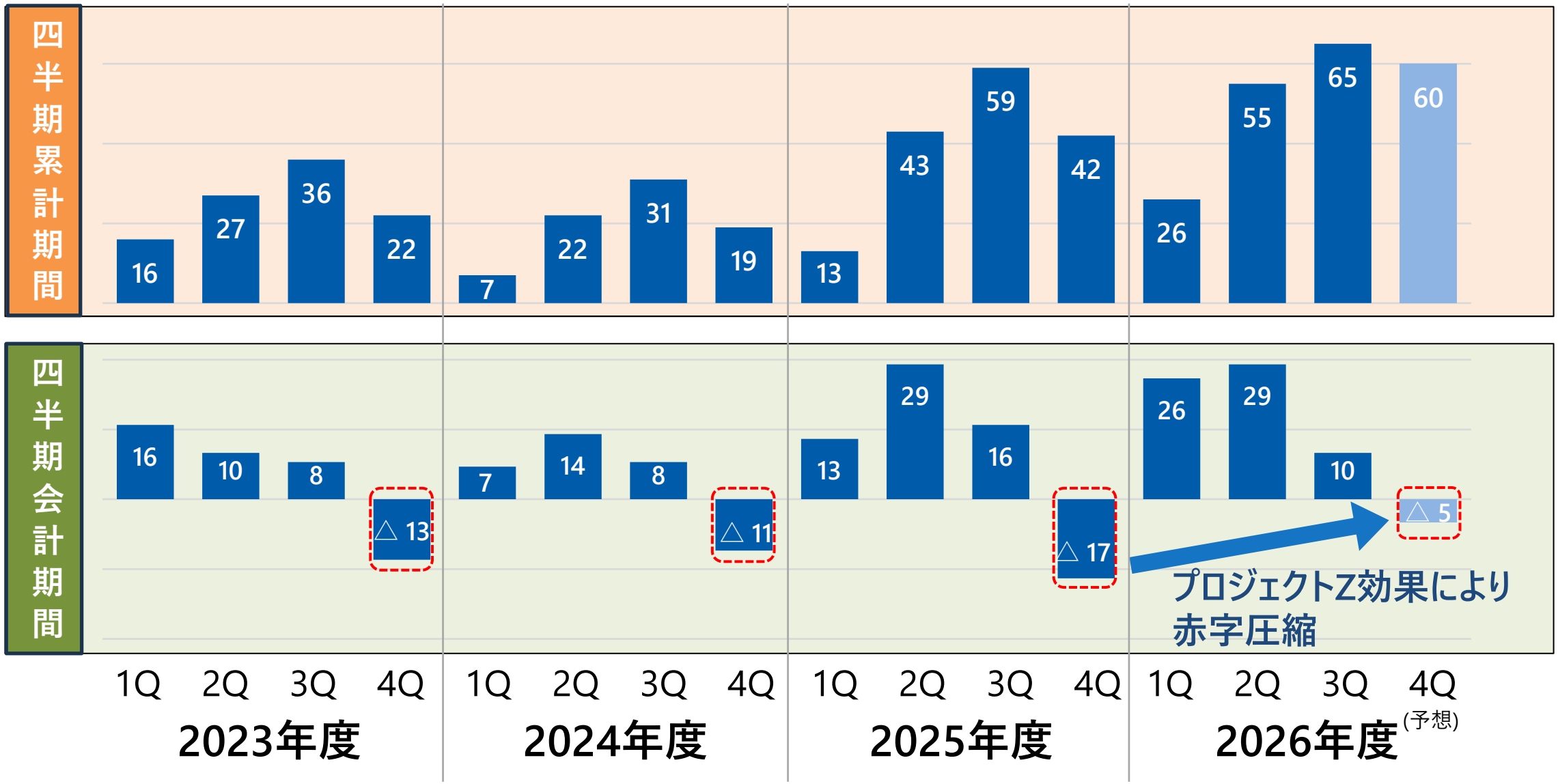
連結業績の推移　プロジェクトＺ効果発現、通期増益を見込む



・プロジェクトＺ効果発現
　４Ｑの赤字傾向を縮小

(参考) 連結営業利益の推移

(億円)



コンバインの見通し　生産の本格稼働で売上回復

2024年～2025年

プロジェクトＺ生産拠点再編
熊本から松山への生産移管決定
(2024年7月18日)

増産を実施
生産移管期間を見越し、
2026年分の「作りだめ」を図った

需要旺盛で販売増
増産分以上に販売、「作りだめ」に至らず

2026年

国内減収予想を公表
生産移管期間を考慮

生産移管期間〈1～5月〉
生産再開　　〈6月～ 〉
プロジェクトＺ計画どおり
安定生産に課題認識

令和8年熊本地震の影響
サプライヤーが被災
一部部品の調達不足

結果、生産計画の未達

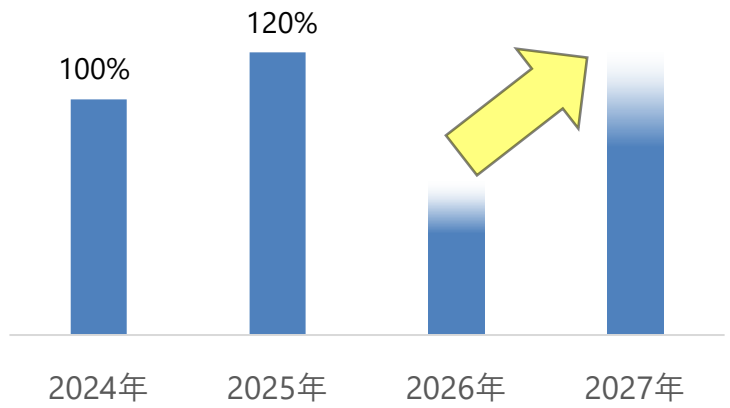
受注残拡大
大型製品好調も、生産対応しきれず
受注残は前期比　+約4ヶ月

2027年

コンバイン生産の本格稼働(再開)
例年の生産量に回復

受注残を背景に売上回復
2027年に順次納品・売上

コンバイン売上推移 [金額]
※2024年を100%とした比率



プロジェクトZの進捗 施策効果は着実に発現、2027年は+75億円以上へ拡大

	施策	営業増益効果（2023年比） 2026年 3Q累計	営業増益効果（2023年比） 2026年 4Q累計見込	2026年の成果	2027年の見通しと根拠	営業増益効果（2023年比） 2027年 累計見込
抜本的構造改革	生産最適化	+12億円	+22億円	• コンバインは松山で生産開始 • 固定費削減効果発現	• 期初から生産の本格稼働により効果拡大 • 生産機種集約は継続推進	+50億円
	開発最適化			• 製品利益率改善は、範囲・手法拡大により27年効果当初計画の80%まで確定 • 機種・型式削減は計画通り進捗	• 製品利益率改善効果は新機種量産で拡大 • 機種削減 30%は目標達成の見込み	
	国内営業深化			• 販売生産性が向上 • 物流改革および業務効率化を継続	• 拠点統合・人員構成の最適化を推進 • 倉庫集約・部品管理の見直しで在庫圧縮	
成長戦略	海外	+14億円	+16億円	• 欧州事業は好調、3社連携シナジーを推進 • アセアンで新規市場開拓を推進	• 欧州事業は引き続き利益成長を牽引 ドイツで新商品を投入	+25億円
	国内			• 「大型」「先端」に注力、草刈商品計画以上に進捗 • 大型新商品を市場投入	• 投入済み新商品の効果発現 • 大規模企画室による顧客拡大	
	（合計）	+26億円	+38億円			+75億円以上

将来の見通しに関する記述についての注意

・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません
・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的リスクや不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません
・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します
本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません

食と農と大地のソリューションカンパニー

食から日本を考える。
NIPPON FOOD SHIFT